

領域開拓プログラム(課題設定型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域):「行動・認知・神経科学の方法を用いた、人文学・社会科学の新たな展開」
- ◆研究テーマ:「社会価値」に関する規範的・倫理的判断のメカニズムとその認知・神経科学的基盤の解明

研究期間: H26.10~H29.9
委託費総額: 30,000 千円

<研究代表者>

亀田達也: 東京大学



大学院人文社会系研究科/教授

<専門分野> 意思決定科学、社会心理学

<Webページ>

<http://www-socpsy.l.u-tokyo.ac.jp/japanese/>

<研究目的・概要>

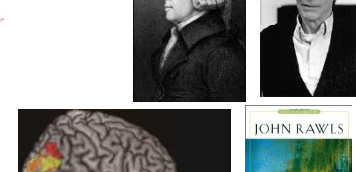
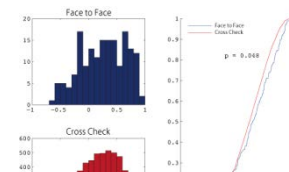
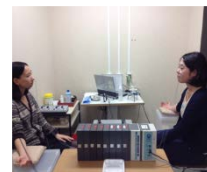
富や権利の配分を含む「社会のあり方」に関する
価値対立は喫緊の政治的・社会的課題

- ・「社会価値」に関する規範的判断のメカニズムを、
計算論モデリング、脳画像・視線計測、自律
神経・内分泌反応計測など、行動・認知・神経
科学の先端手法を用いて検討
- ・法哲学・倫理学の規範理論と実証の有機的接合

- (a) 異分野融合による国際的最先端研究の展開
- (b) 規範と実証をつなぐ国際的な対話コミュニティの形成
- (c) 公共政策や司法判断に係る実践的議論のための基礎理論の整備

<研究計画の特徴>

- ・人文学・社会科学の中心的问题に、行動・
認知・脳科学の先端手法によりアプローチ
- ・規範的研究と実証的研究の接合



<目標とする研究成果>

(1) 価値形成の基礎プロセスの解明

- ・物質価値・社会価値の計算を担う認知・神経
メカニズムの共通性と差異に関する検討
- ・社会価値の獲得に関する計算論モデルの構築
と規範論的敷衍

(2) 分配の正義を範例とする、高次の社会 価値の働きの解明

- ・Inequality, Maximin, Efficiencyなどの分配
価値の適用・統御に関する実証的・規範論的
検討